

平成31年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	1. 橋梁維持事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	6. 橋梁維持費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	補助	計画	0	0	45,538	実施計画	第5章	住環境が整備された住みやすいまちづくり	1,961,068
							基本施策3	交通環境の整備	平成28年度 414,422
									平成29年度 430,207
									平成30年度 371,342
							施策1	安心・快適な道路環境の維持管理を行います	平成31年度 307,472
								平成32年度 437,625	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	241,350	
本年度当初査定額	83,075	91,628

財源内訳	国庫支出金	地方債				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				241,350	△241,350
本年度当初査定額	47,875	35,200				0	8,553

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・橋梁点検委託 (JR)1橋 ・工事委託 (NEXCO)新林橋 ・設計委託 8橋 ・橋梁補修工事 新林橋、志津橋、高岡橋、新旭橋、弁天橋、飯重橋、飯野竜神橋、宮ノ橋、根崎橋、岩名橋、六崎4号橋</p>	<p>(事業の目的) ・橋梁の適切な維持管理と合わせ、点検等の調査、維持、改修工事等を実施し、安全で安心して利用できることを目的とします。 ・橋梁長寿命化修繕計画により、計画的な補修工事を実施することにより、事業費を平準化しながら健全な管理をします。 ・鉄道、高速道路、国道などに架かる橋については、落橋防止、剥落防止等の補強工事を実施し、他の交通機関等への被害が及ばないように未</p>	<p>(事業の効果) ・橋梁長寿命化修繕計画により、計画的な維持管理をすることにより、事業費の削減とともに橋の延命措置ができます。また、計画的な補修工事を実施することにより、安全性が計れ、安心して通行ができます。 ・鉄道、高速道路等に架かる橋の剥落防止工事を実施することにより、緊急輸送道路としての機能確保に寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 橋梁に携わった技術者が少ないため、設計・施工ともに業者への指導が難しいところがあります。若手技術者を育成し、将来にわたり適切な維持管理ができるようにしていく必要があります。緊急輸送路、鉄道等を跨ぐ橋梁については、先方の年間対応件数がある程度決まっており、予定通り補修を進めるのが難しい状況にあります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 補助金の交付率が他事業と比較して良い状況にあるため、引き続き計画に基づき事業を進めていきます。大きな見直し点はありませんが、効率的な事業進捗を図っています。</p>	<p>(見積りに関する特記事項) JR、NEXCOへの委託については、相手方からの見積もりが概ね事業費となっています。交通規制、起電停止の状況により、設計変更による額の大幅な増減があり、例年、減額となるケースが多く見られます。補助対象事業であれば、減額分を他橋梁へ振分けて執行することも想定されます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
13	91,628	213,000	△121,372

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	15	02	05	01	01	00	防災・安全社会資本整備交付金	139,350	47,875	129,610	△81,735
	22	01	04	01	01	00	橋梁維持事業債	102,000	35,200	95,400	△60,200
差引一般財源							△241,350	8,553	△225,010	233,563	